

令和 9 年度

教育学部

総合型選抜 I 学生募集要項

対象課程・コース 及びサブコース	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 音楽サブコース 美術サブコース 保健体育サブコース
出 願 受 付 期 間	令和 8 年 9 月 1 日(火)～令和 8 年 9 月 4 日(金)
試 験 日	音楽サブコース, 美術サブコース 令和 8 年 10 月 2 日(金) 保健体育サブコース 令和 8 年 10 月 2 日(金)～令和 8 年 10 月 3 日(土)
合 格 発 表	令和 8 年 11 月 2 日(月)

岩手大学教育学部総合型選抜 I の出願関係書類は、本要項には含まれておりませんので、必ず資料請求ページからお取り寄せください。

岩手大学ウェブサイト>入試情報>資料請求
<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/request/info.html>



岩 手 大 学

目 次

I	岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	教育学部入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
III	募集人員	6
IV	出願資格	6
V	出願要件	6
VI	障がい等を有する入学志願者との事前相談	7
VII	出願手続	8
	1 出願方法	
	2 出願書類等送付先	
	3 出願受付期間	
	4 出願書類等	
	5 出願書類等提出上の注意	
	6 受験票の交付	
	7 検定料免除	
VIII	選抜方法等	10
	1 試験日程	
	2 試験内容	
	3 受験上の注意	
	4 不正行為	
IX	合格者の発表	13
X	入学手続等の概要	13
XI	合格者の留意事項	14
XII	長期履修制度	14
XIII	個人情報の取り扱い	14
XIV	出願書類等の記入要領	15
	1 志願票記入要領	
	2 出願理由書記入要領	
	3 写真票・受験票・入学検定料納入確認票記入要領	
	4 ラベル票記入要領	
	5 学部・学科等コード表	
XV	教育実習に関する留意事項	20
XVI	建物配置及び試験場案内図	21

I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

岩手大学は、地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために、高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- 真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
- 自然や人を思いやる心と倫理性
- 豊かな発想とチャレンジ精神、そしてコミュニケーション能力

入学者の選抜は、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ・私費外国人留学生選抜）、学校推薦型選抜の各選抜区分により実施します。（編入学試験を除く。）

各選抜にあたっては、学力の3要素（(1)知識・技能、(2)思考力・判断力・表現力等の能力、(3)主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度（主体性・多様性・協働性））を多面的、総合的に評価します。

II 教育学部入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

1 学部概要

教育学部は、教員養成の専門学部として、教育に関する理論的・実践的な力量、教育内容とその背景をなす諸学問の理解及び豊かな人間性・社会性を備え、地域の要請に応えつつ、教員としての意欲と高い使命感をもって教育に取り組むことができる教員の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質（求める学生像）《学部共通》

(1) 知識・技能

- ・ 幅広い教養教育と教員になるための専門教育に主体的に取り組む基礎となる知識・技能を有する人

(2) 思考力・判断力・表現力等

- ・ 知識を活用し論理的に思考・判断する資質・能力を有する人
- ・ 多面的な考え方や協調性を尊重するとともに、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を有する人

(3) 学びに向かう力・人間性等

- ・ 学校教育に関わる種々の問題に関心を持ち、教員として社会に貢献する強い意欲を有する人
- ・ 豊かな人間性と子どもに対する深い愛情を有する人
- ・ 生涯学び続ける態度を有する人
- ・ 様々な課題に対し主体的に取り組むとともに、周囲の人々と協働して解決しようとする姿勢を有する人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

教育学部では、地域の要請に応えつつ、教員としての意欲と高い使命感をもって教育に取り組むことができる教員の養成を目的としていることから、できるだけ幅広い教科・科目について基礎的な内容を修得していることが望まれます。さらに得意な分野等については、より学習を深め、科目全般についての学習内容を理解し確かな知識・技能を修得していることが望まれます。また入学後の学習に必要とされる基本的な読解力と文章構成力を身につけていることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般選抜（前期日程）

小学校教育コース・中学校教育コース（国語・社会・英語）・理数教育コース・特別支援教育コースでは、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストによって「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」を評価します。中学校教育コース（音楽・美術・保健体育）では、大学入学共通テスト及び実技検査によって「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を評価します。中学校教育コース（音楽・美術・保健体育）では、個人面接によって「学びに向かう力・人間性等」を中心に評価します。また、志願者評価書によって「学びに向かう力・人間性等」を有しているかを、運動歴調査書によって、運動技能を保有しているかを評価します。

(2) 学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

小学校教育コース（一般枠・「希望郷いわて」教員養成枠）・中学校教育コース（国語・英語）・理数教育コース・特別支援教育コースでは、小論文によって「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を評価します。

小学校教育コース（一般枠・「希望郷いわて」教員養成枠）・中学校教育コース（国語）・理数教育コース・特別支援教育コースでは、個人面接によって「学びに向かう力・人間性等」を中心として評価します。特に「希望郷いわて」教員養成枠では、岩手県の小学校教員を目指す強い意欲を評価します。また、中学校教育コース（英語）では、個人面接によって「学びに向かう力・人間性等」「知識・技能（英語の運用能力）」を中心として、評価します。出願理由書は「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を中心に、面接で判定を行う際の資料として活用します（「希望郷いわて」教員養成枠では、活動実績報告書も含みます）。調査書及び推薦書は「知識・技能」「学びに向かう力・人間性等」を中心に、面接で判定を行う際の資料として活用します。

(3) 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

実技検査によって「知識・技能」を中心に、「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を評価します。個人面接によって「学びに向かう力・人間性等」を中心に評価します。出願理由書は「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を中心に、調査書は「知識・技能」「学びに向かう力・人間性等」を中心に、面接で判定を行う際の資料として活用します。また、運動歴調査書は、「知識・技能」を中心に、面接で判定を行う際の資料として活用します。

【小学校教育コース】

1 コース概要

小学校教育コースは、人間の成長過程で重要な位置を占める小学校段階の教育を主として担う教員の養成を目的としています。本コースでは、小学校教育に関わる教科指導と生活指導に関する専門的知識・技能及び実践的指導力に加え、小学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

小学校教育コースにおいては、幅広い教科についての基礎学力が必要とされ、広い学びと深い学びを両立できる意欲と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【中学校教育コース】

1 コース概要

中学校教育コースは、特定の教科に関する専門性を備え、生徒の発達に応じて適切に指導できる中学校段階の教育を主として担う教員の養成を目的としています。本コースでは、教科に関する専門的な学力とともに、生活指導に関する専門的知識・技能及び実践的指導力を有し、中学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

中学校教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に専門とする教科についての深い関心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【理数教育コース】

1 コース概要

理数教育コースは、子どもたちに理科・数学に関する確かな学力を身につけさせ、学ぶことの大切さを伝えるとともに、子どもたちの科学的な思考力や創造性を育成する理数教育の担い手として、小学校における理科・算数の教科リーダーとなる教員、また中学校における高い専門性を備えた理科・数学の教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

理数教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に自然科学・数学分野における旺盛な探究心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【特別支援教育コース】

1 コース概要

特別支援教育コースは、特別支援学校、特別支援学級、小学校・中学校等の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもに対して、主体的取り組みを支援する観点から教育的ニーズを把握し、適確に指導・支援できる教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》

特別支援教育コースにおいては、特別支援教育の基礎として前述の「小学校教育コース」または「中学校教育コース」と同等の能力を有していることが望まれます。加えて、特別支援教育への熱意、多様な子ども一人ひとりに寄り添うことができる感性を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、選抜区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

<別表>選抜に活用する評価方法とその評価項目

(1) 選抜に活用する内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	学校推薦型	学校教育に関連する基礎的な「知識・技能」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を有しているかを評価する。
個人面接	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 学校推薦型 総合型Ⅰ	学校教育に関連する基礎的な「知識・技能」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を有しているかを評価する。 学校推薦型選抜の中学校教育コース（英語）ではこれらに加えて「知識・技能（英語の運用能力）」を評価する。
実技検査	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 総合型Ⅰ	教職を目指す者としてふさわしい「技能」を中心に、「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を有しているかを評価する。
志願者評価書	一般（前期）	高校時代の学業や課外活動の記録を通じて教職を目指す者としてふさわしい「学びに向かう力・人間性等」を有しているかを評価する。
運動歴調査書	一般（前期）・保健体育 総合型Ⅰ・保健体育	競技成績等の運動歴を通じて保健体育科教師としてふさわしい運動技能を保有しているかを評価する。
活動実績報告書	学校推薦型・小学校 （「希望郷いわて」教員 養成枠）	学校での教育活動のほか、学校外でのボランティア活動や、県・市町村の教育委員会や大学が主催するセミナー、オープンキャンパスなどの課外活動の実績を通じて、小学校の教師を目指す者としてふさわしい「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を有しているかを評価する。
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ	「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。
調査書	学校推薦型 総合型Ⅰ	「知識・技能」「学びに向かう力・人間性等」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。
推薦書	学校推薦型	「知識・技能」「学びに向かう力・人間性等」を中心に、個人面接で判定を行う際の資料として活用する。

(2) 選抜に活用する内容の重点評価項目

学力の3要素・評価項目 選抜方法等		(1) 知識等	(2) 思考力等	(3) 主体性等
		知識・技能	思考力・ 判断力・ 表現力等	学びに向かう力・ 人間性等
大学入学共通テスト	一般（前期）	○	○	
教科・科目に係る個別テスト〈教科〉	一般（前期）	○	○	
小論文	学校推薦型	○	○	○
個人面接	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 学校推薦型 総合型Ⅰ	○（*）	○	○
実技検査	一般（前期）・音楽 一般（前期）・美術 一般（前期）・保健体育 総合型Ⅰ	○	○	○
志願者評価書	一般（前期）			○
運動歴調査書	一般（前期）・保健体育 総合型Ⅰ・保健体育	○		
活動実績報告書	学校推薦型・小学校（「希望郷いわて」教員養成 枠）		○	○
出願理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ		○	○
調査書	学校推薦型 総合型Ⅰ	○		○
推薦書	学校推薦型	○		○

（*）中学校教育コース（英語）では「知識・技能（英語の運用能力）」を評価する。

※ 一般選抜（前期日程）においては調査書は、高大接続及び学力の3要素評価の観点から、総合判定の資料として活用します。

Ⅲ 募集人員

課程・コース	サブコース	募集人員
学校教育教員養成課程 中学校教育コース	音楽サブコース	2名
	美術サブコース	2名
	保健体育サブコース	4名
	計	8名

Ⅳ 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者

Ⅴ 出願要件

次の①②を満たす者

- ① 将来は中学校の教員として、高い使命感を持って教育に取り組む意欲を有する者で、合格した場合は入学することを確約できる者
- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者

Ⅵ 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和8年8月3日（月）までに「事前相談について」（所定様式）を提出してください。「事前相談について」（所定様式）は、本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/handicapped.html>）からダウンロードしてください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので、できるだけ早めに提出してください。

また、上記期限後に不慮の事故等により、受験上の特別な配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目 18-8

		令和 年 月 日	
岩 手 大 学 長 殿			
		氏 名 (志願者との関係)	
		住 所	
		電話番号 — —	
事前相談について			
下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。			
記			
1 志願者氏名			
ふりがな氏	男・女	生年月日	年 月 日生
現住所	〒 — 電話 — —		
出身学校名	電話 — —		
2 志望学部等名			
学部・学科等	学部	学科・課程	コース
出願区分 (出願区分を○で囲む)	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ	学校推薦型 私費外国人 前期日程 後期日程
3 障がいの種類・程度			
4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容			
5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容			
6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮			
7 日常生活の状況			
8 添付書類			
(1) 医師の診断書			
(2) その他			
注1 出身学校関係者等が記入してください。			
注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入してください。			
注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入しても構いません。			
注4 医師の診断書等の書類は、写しで構いませんので、必ず添付してください。			
注5 ※欄には記入しないでください。			
※ 大学記入欄			

Ⅶ 出願手続

1 出願方法

志願者は、下記4に記載の出願書類等を取りそろえ、本学所定の出願書類等提出用封筒に入れて必ず「速達書留」で郵送してください。「速達書留」はポスト投函では利用できませんので、必ず郵便局窓口で手続きしてください。なお、持参による出願は認めません。

2 出願書類等送付先

岩手大学学務部入試課
〒020-8550 盛岡市上田三丁目 18-8

3 出願受付期間

令和8年9月1日（火）から9月4日（金）まで【必着】
出願書類の提出は郵送のみとします。郵送にかかる日数を十分に考慮して出願してください。

4 出願書類等

表中の「○」印の書類は本学ウェブサイトの資料請求ページから郵送で取り寄せて作成する書類（表紙参照）、「●」印の書類は本学ウェブサイトの「入試情報」→「学部入試」→「総合型選抜」よりダウンロードして作成する書類です。

(<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/info.html#sougou>)

書類等	記入方法等
○志願票	・ 所定の用紙に志願者本人が記入してください。志願票は、電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。 ・ 15ページ以降の記入要領を参照してください。
○出願理由書	・ 所定の用紙に志願者本人が記入してください。 ・ 15ページ以降の記入要領を参照してください。
○写真票・ 受験票・入学検定料 納入確認票	・ 太線枠内に志願者本人が記入してください。 ・ 15ページ以降の記入要領を参照してください。 ・ 写真票には、写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。 ・ 検定料 17,000円（非課税）（別途払込手数料がかかります。）を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。（ATMは利用しないでください。） ・ 払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認の上、所定の欄に貼ってください。 ・ 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 （補足）国立大学法人岩手大学のインボイス発行事業者としての登録番号は、T6400005002202です。 注）災害救助法適用地域における検定料免除措置については、9ページの「7 検定料免除」を確認してください。
○ラベル票	・ 所定のラベル票用紙の「①出願受付用」及び「②合格者通知用」は必ず記入してください。 ・ 15ページ以降の記入要領を参照してください。
○受験票送付用封筒	・ 所定の封筒に志願者本人のあて先を明記し、410円分の切手（速達料金）を貼ってください。 ※ 郵便料金が改定された場合は、料金改定後の郵便切手が必要になりますので注意してください。

調査書	・ 文部科学省所定の様式で、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。 ・ 高等専門学校第3学年修了者（見込みを含みます。）は、所定の調査書に準じて作成したものを提出してください。
●実技選択票 音楽サブコース (該当者のみ提出)	・ 音楽サブコース志願者は、本学ウェブサイトより様式をダウンロードの上、志願者本人が必要事項を記入し、提出してください。なお、音楽サブコースを志願する者は、11ページを確認の上、必要に応じて伴奏譜又は独奏譜も提出してください。
●運動歴調査書 保健体育サブコース (該当者のみ提出)	・ 保健体育サブコース志願者は、本学ウェブサイトより様式をダウンロードの上、出身学校で作成したものを提出してください。また、記入した成績・記録等の客観的な証明として、代表的な大会の賞状やプログラムのコピー等の書類を添付してください。
その他の書類	・ 検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書及び必要な書類を添えて提出してください。

5 出願書類等提出上の注意

- (1) 受理した出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。
- (2) 出願書類等に次のような不備のあるものは受理しませんので、注意してください。
 - ① 記入漏れ、誤記入のあるもの
 - ② 検定料に不足のあるもの
 - ③ その他、提出すべき書類等が添付されていないもの
- (3) 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

6 受験票の交付

出願書類が受理された志願者には、受験票を交付します。

受験票が令和8年9月18日（金）を過ぎても到着しない場合は、岩手大学学務部入試課（☎ 019-621-6064）に問い合わせてください。

7 検定料免除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。出願手続の際に一緒に申請手続を行ってください。

申請手続等の詳細については、岩手大学ウェブサイト (<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/exemption.html>) を確認の上、岩手大学学務部入試課（☎019-621-6064）に問い合わせてください。

VIII 選拔方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学において実施する教科・科目に係る個別テストを免除し、下記の選考により行います。

1 試験日程

受験者は8時30分までに教育学部に集合してください。(21ページの建物配置及び試験場案内図参照)

課程・コース・サブコース		試験日	選抜区分	時 間
中学校 学校教育 課程 中学校 教育 コース	音楽サブコース	令和 8 年 10 月 2 日（金）	実技検査	9：00～17：00
			面接	
	美術サブコース		実技検査	9：00～13：00
			面接	14：00～
	保健体育サブコース	令和 8 年 10 月 2 日（金）	実技検査	9：00～17：00
		令和 8 年 10 月 3 日（土）	面接	9：00～

※ 試験の終了時刻は、受験者数によっては予定時刻を過ぎることがあります。

※ 保健体育サブコースの試験は2日間を予定していますが、志願者数によっては10月2日（金）の1日のみで実施することがあります。試験日については、志願者数公表時（本学ウェブサイト上）及び受験票送付時（郵送）に通知します。

2 試験内容

(1) 選拔方法

課程・コース・サブコース		選抜方法
学校 教育 教員 養成 課程 中 学 校 教 育 コ ー ス	音楽サブコース	実技検査、面接、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。
	美術サブコース	実技検査、面接、調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。 受験時には、資料ファイル（これまでに制作した作品や芸術活動についてまとめた資料・様式任意）を持参してください。面接の際に、資料ファイルについての説明を求めます。
	保健体育サブコース	実技検査、面接、調査書、運動歴調査書及び本人の出願理由書を総合して判定します。 ○２段階選抜について 入学志願者数が募集人員の５倍を超えた場合、出願理由書、調査書、運動歴調査書により、第１段階選抜を行うことがあります。その際には、各書類をアドミッション・ポリシーに照らして総合的に評価します。実施の有無、選抜実施結果（可否）については、次のとおり、令和８年９月１８日（金）までに志願者全員に発送します。 ① 第１段階選抜を実施しない場合 志願者全員に本学受験票を送付します。 ② 第１段階選抜を実施した場合 合格者には、第１段階選抜実施結果と本学受験票を送付します。不合格者には、第１段階選抜実施結果と検定料の一部（１３，０００円）を返還するための検定料返還手続書類を送付します。

※ いずれのサブコースにおいても、評価が著しく低い場合は、募集人員に関わらず不合格とすることがあります。

※ 他の入試への出願について

総合型選抜Ⅰに合格しなかった場合に備えて、学校推薦型選抜及び一般選抜志願者と同様の手続により本学及び他の国公立大学・学部へ出願することができます。（一般選抜に出願する場合、大学入学共通テストを受験する必要があります。）

(2) 実技検査

各サブコースの実技検査の内容は次のとおりです。また、受験時に記載の用具を持参してください。

サブ コース	検査内容・持参する用具・留意事項
音楽 サブ コース	1 聴音…12小節程度の単旋律書き取り 2 コールユーブンゲン第1巻，原書No.1 からNo.85のうちから当日1曲指定します。移動ド唱法又は固定ド唱法のいずれかで歌ってください。[繰り返しは省略] 3 ピアノ練習曲「チェルニー40番」程度以上のエチュードを1曲，暗譜で演奏してください。曲目は出願時に申告してください。[繰り返しは省略] 4 自由選択課題 声楽，ピアノ，管楽器，弦楽器，打楽器の5つの分野から1つを選択し，それぞれ決められた課題を行います。課題は下記のとおりです。 声 楽…出願時に申告した任意の歌曲かアリアを1曲歌唱 ピアノ…出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 [繰り返しは省略] 管楽器…出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 弦楽器…出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 打楽器…出願時に申告した任意の楽曲1曲を演奏 注1) 自由選択課題で選択した分野はあくまでも受験のための措置であり，入学後の専門領域を決定するものではありません。 注2) 声楽を選択する者で伴奏付きの楽曲を演奏する者は，出願時に，伴奏譜を提出してください。なお，伴奏者は本学が用意します。 注3) 管楽器，弦楽器及び打楽器を選択する者は，出願時に伴奏譜を提出してください。エチュードや無伴奏作品の場合は独奏譜を提出してください。なお，当日の試験の際は伴奏者なしで演奏してください。 注4) 声楽及びピアノを選択した者は暗譜で演奏してください。管楽器，弦楽器及び打楽器を選択した者は暗譜ではなくても構いません。 注5) ピアノ以外の楽器は，自分一人で持ち運びできるものを持参してください。 注6) 出願後の曲目変更は認めません。 注7) 次の時間帯に音楽科の練習室（ピアノあり）で事前練習をすることができます。希望者は以下の練習室使用開始時間5分前までに，教育学部受験案内板にて指示する場所に集合してください。集合時刻に遅刻した者は，練習室を使用できませんので，注意してください。 ○令和8年10月2日（金）8時15分～8時35分
美術 サブ コース	1 デッサン（卓上静物） 鉛筆デッサン用具一式を持参してください。なお，四つ切りサイズ画用紙及びカルトンとクリップは，大学で用意します。
保健 体育 サブ コース	1 基礎運動能力試験 (1) 助走付き 30m ハードル走 (2) 5-10-15m 折り返し走 (3) サッカージグザグドリブル (4) 立ち三段跳び (5) ソフトボール投げ (6) 1500m 走 実技検査を受けるのに必要な衣服，アウトドアシューズ及びインドアシューズを持参してください。

3 受験上の注意

- (1) 試験日は「本学の受験票」を必ず携帯し、係員の請求があった場合は、これを提示してください。
- (2) 試験場へは公共交通機関又は徒歩で来場してください。試験当日は混雑が予想されるため、自家用車での来場はご遠慮ください。なお、やむを得ず自家用車を利用する場合は、大学周辺の有料駐車場を利用し、近隣の店舗・施設への無断駐車は絶対に行わないでください。
- (3) 試験場の下見は10月1日（木）の14時～17時としますが、建物の中に入ることはできません。
- (4) 試験場では携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類の使用を認めませんので、必ず電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず身につけていたり手に持っていたりすると、不正行為となることがあります。
- (5) 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- (6) 集合時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めますので、集合時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。
- (7) 試験場で不正行為を行った者や、監督者の指示に従わない者には退場を命じ、受験結果を全て無効とします。
- (8) 昼食は各自で用意し、受験者控室で食事をしてください。

4 不正行為

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。

- ① 出願書類、答案へ故意に虚偽の記入をすること。（写真票に本人以外の写真を貼ることや、答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等）
- ② カンニングをすること。（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

Ⅸ 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

合格発表の日時	発表方法
令和8年11月2日（月）13時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/

※ 可否の問い合わせには、一切応じません。

※ 合格電報又は合格電話の受付を行っている者がいますが、これは岩手大学とは一切関係がありませんので注意してください。

X 入学手続等の概要

入学手続等の概要は、次のとおりとし、詳細については合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

なお、入学手続は郵送のみとします。

1 入学手続締切期日

令和8年11月12日（木）【必着】

2 大学納付金（登録番号 T6400005002202 国立大学法人岩手大学）

(1) 入学料 282,000円（予定額）非課税

(2) 授業料 年額 535,800円〔前期分267,900円 後期分267,900円〕（予定額）非課税

※ 上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※ 授業料の納入方法については、「入学手続のしおり」でお知らせします。なお、入学手続後の入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

3 入学料及び授業料の免除等制度

本学では、下記のとおり入学料及び授業料の免除等を実施しています。

詳細は本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/fee/exemption.html>）をご覧ください。

(1) 高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除

高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除を実施します。

(2) 入学料の徴収猶予

経済的理由によって入学料の納入が納入期限までに困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、入学前1年以内に、本人の学費を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合には、本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上、定められた期限まで徴収を猶予することがあります。

(3) 特別な事情による免除

入学前1年以内に、本人の学費を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上、入学料や授業料の一部又は全額を免除することがあります。

4 その他の経費（令和8年4月現在）

(1) 学生教育研究災害傷害保険料（賠償責任保険含む）4,080円（4年間分）

(2) 後援会、同窓会費等の諸会費 70,000円

XI 合格者の留意事項

- 1 本学の総合型選抜Ⅰに合格した者は、原則として入学辞退は認められません。
- 2 本学の総合型選抜Ⅰに合格し入学手続を完了した者は、本学及び他の国公立大学を受験しても、その大学の合格者とはなりません（特別の事情により入学辞退を認められた者を除く。）。
- 3 入学手続を完了した者が特別の事情により入学を辞退する場合は、入学手続完了者本人が令和9年2月17日（水）までに岩手大学長あてに「総合型選抜入学辞退願」を提出し、許可を得なければなりません。
- 4 入学前教育について
合格者へは入学前の学習支援として、高等学校教育への影響を配慮しながら、本学からレポート等の課題を課し、指導を行います。
なお、詳細は合格者本人に通知します。

●大学入学共通テストの受験について

本総合型選抜Ⅰでは、大学入学共通テストは課しませんが、合格後の学習継続と本学入学後の学修に支障をきたさないために、大学入学共通テストを受験することを強く推奨します。

XII 長期履修制度

職業を有しているなどの事情（注1）によって、修業年限である4年を超えて、一定の期間（最長6年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。

この制度の適用学生の授業料総額は、修業年限（4年）で卒業する学生が納める授業料総額と同額となります。

なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

- 注1）該当者：① 職業を有している者（1日8時間週3日以上又は1日4時間週4日以上の勤務者で6月以上の継続雇用者）
② 家事従事者又は育児にあたっている者
③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者
④ その他、本学が適当と認める者

注2）長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

詳細については、岩手大学学務部学務課（☎019-621-6077）に問い合わせてください。

XIII 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生支援関係業務（奨学金案内・申請、学生寮案内等）を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。

ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

4. 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校コード、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係業務（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係業務を行うために利用します。

XIV 出願書類等の記入要領

志願票、出願理由書、写真票、受験票及び実技選択票（教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース音楽サブコース志願者）は、必ず志願者本人が記入してください。

出願書類等は、以下の記入要領等をよく読んで、志願票はHBのシャープペンシル（0.5mmしん）で、志願票以外の用紙は黒のボールペンで楷書で明確に、欄からはみ出さないように丁寧に記入してください。

ただし、※欄には記入しないでください。

誤って記入した場合は、修正液等は絶対に使用せず、以下の方法で修正してください。

- ① 志願票はプラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。
- ② 志願票以外の用紙については、誤って記入した部分を二重線で抹消し、その上部余白に正しいものを記入してください。

1 志願票（総合型選抜Ⅰ）記入要領

- ◎ 志願票は、HBのシャープペンシル（0.5mmしん）を使用し、濃く、丁寧に枠をはみ出さないように「志願票の正しい書き方例」（以下正しい書き方例）（18ページ）を参照しながら記入してください。記入を誤った場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから正しく書き直してください。

- ① 志望学部・課程・コース・サブコース

志望するサブコースにチェックを記入してください。

- ② 学部・学科等コード

志望する学部・学科等コードは、19ページ又は志願票裏面の学部・学科等コード表の該当するコードを正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。

- ③ 氏名

氏名（略字等は用いないでください。）を漢字とカタカナで記入してください。姓と名の間を1マスあけて、丁寧に記入してください。

氏名の漢字表記は、電算処理のため、原則として、JIS第1水準及び第2水準の文字で記入してください。

コンピュータで表記出来ない（上記JIS規格以外）漢字については、類似する漢字に置き換え、もしくはひらがな表記にて登録します。

（例）「吉岡」→「吉岡」

外国人志願者は、住民票又は旅券（パスポート）に記載されているアルファベット氏名を記入してください。

- ④ 性別

該当する数字を正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。

- ⑤ 生年月日

生年月日を正しい書き方例（18ページ）を参照しながら□の中に記入してください。数字が1桁の場合は、右側に記入し、左側には、「0」（ゼロ）を記入してください。

- ⑥ 学校名

学校名を記入し、該当する文字を○で囲んでください。ふりがなは、ひらがなで記入してください。

⑦ 高等学校コード

7月下旬に本学ウェブサイト (<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/info.html>) に「高等学校等コード表」を掲載しますので、該当するコードを確認の上、正しい書き方例(18ページ)を参照しながら□の中に記入してください。

⑧ 高等学校等の課程・学科

該当する区分の数字を正しい書き方例(18ページ)を参照しながら□の中に記入してください。学科が7(1～6以外の学科)の場合は、当該学科名を記入してください。

⑨ 志願者の略歴

高等学校等名、入学及び卒業(見込)年月を記入してください。

高等専門学校3年次(修了見込者)は、「1」を記入してください。

□の中に記入する数字については、正しい書き方例(18ページ)を参照してください。

⑩ 連絡先

志願者及び保護者の住所・電話番号等を記入してください。電話番号は、本人と連絡がとれる番号を記入してください。

出願後、連絡先に変更が生じた場合は、速やかに岩手大学学務部入試課へ届け出てください。

志願票記入例

令和9年度岩手大学総合型選抜Ⅰ志願票

岩手大学の個人情報の取り扱いに同意し、志願します。
HBのシャープペンシル(0.5mmしん)で記入してください。

※

※大学記入欄			
① 志望学部・ 課程・コース ・サブコース	教 育 学 部		学校教育教員養成 課 程
	中学校教育 コース		
	☐ 音楽サブコース ☒ 美術サブコース ☐ 保健体育サブコース		
② 学部・学科等 コード	K H	本志願票裏面の学部・学科等コード表を確認の上、記入してください。	
③ 氏 名	*姓と名の間を1マスあけ、丁寧に記入してください。		
	カ ナ が ン ダ イ タ ロ ウ 漢 字 岩 大 太 郎		
④ 性 別	1 男 2 女 1	⑤ 生年月日	2 0 0 8 年 0 6 月 0 7 日
⑥ 学 校 名	ふりがな もりおか だいなな 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ 盛岡第七		⑦ 高等学校 コード 9 8 7 6 5 C
	1 全日制 2 定時制 3 通信制 4 その他 1		
⑧ 高等学校等の 課程・学科	1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 1～6以外の学科 1		
	7の場合の学科名		
⑨ 志願者の略歴	2024年 4 月 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 入 学 高等専門学校		
	2027年 3 月 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 1 卒業見込 高等専門学校 2 卒業 1		
⑩ 連 絡 先	志願者住所等 ふりがな いわて もりおか レミタカミどり (〒020-8550) 岩手 都・道・府 県 盛岡市北上通1-2-3		
	電話番号 (019)-(621)-(6064) 携帯電話番号 (090)-(△△△△)-(□□□□)		
	保護者住所等 ふりがな (〒 -) 都・道・府・県 同上		
	電話番号 (019)-(621)-(6064) 携帯電話番号 (090)-(XXXX)-(□□□□)		
	保護者氏名 岩大 好		
	志願者との続柄 父		

志願票記入例

正しい書き方例



個々の注意点（○印の部分は、特に注意してください。）

(1) 数字			
0	輪を大きく円にしない	0, 0	等は不可
1	垂直にまっすぐに	1, 1	等は不可
2	下の横線を真横に	2, 2	等は不可
3	中央を突き出す	3, 3	等は不可
4	線は十分長く	4, 4	等は不可
5	縦線を突き出す	5, 5	等は不可
6	線を長く輪はつなぐ	6, 6	等は不可
7	カギをつけ脚は垂直に	7, 7	等は不可
8	交点を X に下の円を大きく	8, 8	等は不可
9	輪はつなぎ縦線は長くのぼす	9, 9	等は不可
(2) 英文字			
A	線をつなぎ足は左右対称に	A, A	等は不可
B	間隔は均等に線を突き出す	B, B	等は不可
C	湾を深く傾けない	C, C	等は不可
D	線をつなぎ横線を突き出す	D, D	等は不可
E	バランスよく線を突き出さない	E, E	等は不可
F	上の線を長く飾りをつけない	F, F	等は不可
G	線をつなげず中央に間隔をあける	G, G	等は不可
H	縦線は平行に横線はたるまない	H, H	等は不可
J	横線はまっすぐ曲線はなめらかに	J, J	等は不可
K	分岐点は縦線の中央に交点をつける	K, K	等は不可
L	縦線と横線を直角にする	L, L	等は不可
M	縦線は均等にくぼみは中央に	M, M	等は不可
N	縦線は平行につなぎをはみださない	N, N	等は不可
P	曲線は上部から中央まで	P, P	等は不可
Q	輪を大きく下部の曲線もなめらかに	Q, Q	等は不可
R	線をつなぎ斜線は縦線の中央から	R, R	等は不可
S	終端にカギをつける	S, S	等は不可
T	左右均等に飾りをつけない	T, T	等は不可
U	横線と縦線は垂直に	U, U	等は不可
X	線の長さは均等に傾きは 45 度	X, X	等は不可
Y	くぼみをはっきりと縦線は長く	Y, Y	等は不可
Z	斜線の中央に横線をつける	Z, Z	等は不可

(1) 志願票は、次の要領で記入してください。

- ・ ※印の欄は記入しないでください。
- ・ 志願票の□の部分には、上記の「正しい書き方例」にならって丁寧に英数字を記入してください。
- ・ 漢字は正しく楷書で、記入してください。

(2) 志願票は、必ず、HBのシャープペンシル（0.5mm しん）で濃く丁寧に記入してください。

(3) 志願票に記入する文字は、「正しい書き方例」によります。

これ以外の書き方では「光学式文字読取装置（OCR装置）」で読みとれませんので注意してください。

(4) 誤って記入した場合は、プラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。

(5) 志願票は、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。

(6) 志願票の記入事項と記号（英数字）の記入内容を必ず一致させてください。異なっている場合は、記号（英数字）を正しいものとして処理しますので注意してください。

2 出願理由書記入要領（黒のボールペンで記入すること。）

- (1) 志願者氏名，出身学校名，卒業（見込）年月及び志望サブコースを記入してください。
- (2) 学校教育教員養成課程への入学を希望する理由を志願者本人が記入してください。（1,200字以内）
- (3) 中学校卒業後に熱心に取り組んだ各種活動を通じて得た成果があれば，簡潔に記入してください。
（特にない場合は記入不要です。また，保健体育サブコース志願者は「運動歴調査書」と重複する成果は記入不要です。）また，成果を確認できる資料があればコピーを添付してください。
- (4) 他人の助力によらず志願者本人が思考して作成してください。

3 写真票・受験票・入学検定料納入確認票記入要領（黒のボールペンで記入すること。）

太線枠内に，志願者氏名（ふりがなは，ひらがなで記入してください。）を記入してください。

所定の位置に写真（縦4 cm×横3 cm）を貼ってください。

振替払込受付証明書（お客さま用）を日附印欄の押印を確認の上，所定の欄に貼ってください。

4 ラベル票記入要領

① 出願受付用

学部・学科等コード，志願者氏名（ふりがなは，ひらがなで記入してください。）を記載してください。

② 合格者通知用

合格通知書を受け取る場所とし，郵便番号，住所，志願者氏名を記入してください。なお，出願書類提出後に変更があった場合は，速やかに岩手大学学務部入試課へ届け出てください。

5 学部・学科等コード表

学部	課程	コース	サブコース	コード
教育学部	学校教育教員 養成課程	中学校教育コース	音楽サブコース	K G
			美術サブコース	K H
			保健体育サブコース	K J

XV 教育実習に関する留意事項

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、令和8年12月25日より、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。教育実習生にも性犯罪前科の有無の確認が求められる場合がありますので、留意点をお知らせします。

【教育実習に関する留意点】

- 事業者（教育実習を行う各学校）により性犯罪前科があると確認された者は、教育実習ができないこととなります。そのため、大学を卒業することにより得られる教員免許状の取得要件を満たすことができません。
- 性犯罪前科がある場合、教育実習ができないことにより、卒業ができなくなる可能性があります。
- 本学では、適切な時期に同法に基づく教育実習に関する留意点への同意書等の提出を求めることがあります。

【参考】

- 教育実習計画において、こどもと一対一になることが実習上予定されている、実習期間が相当長期にわたるなど、教育実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習であると判断された場合、事業者（教育実習を行う各学校）が性犯罪前科の有無の確認を行う場合があります。
- 性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。
- 性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習はできないこととなります。

○制度の詳細はこちらをご覧ください。

こども家庭庁 HP「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

リンク：<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

※制度一般については、こども家庭庁にお問い合わせください。

XI 建物配置及び試験場案内図

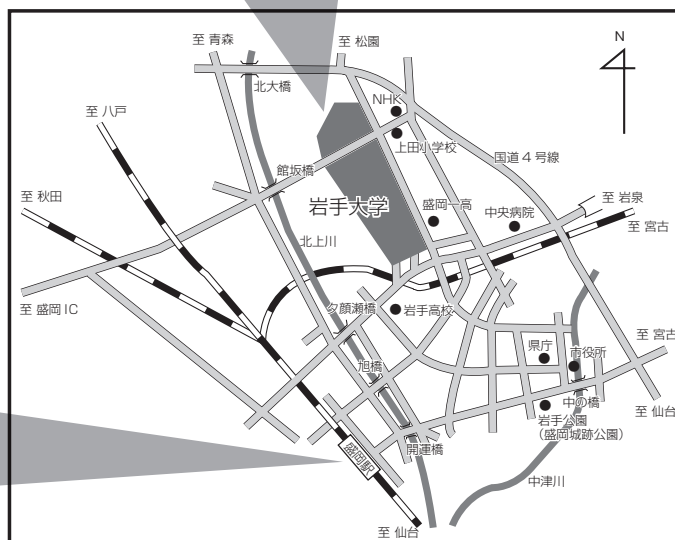
キャンパスマップ
全体図はこちら



学 部	盛岡駅前(バスターミナル11番のりば)からの交通機関
人文社会科学部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「岩手大学前」下車
教育学部	・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「岩手大学前」下車
農学部	・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「岩手大学前」下車
獣医学部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「上田四丁目」下車
工学部	・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「理工学部東口」下車

※ 本町、山岸、洞清水経由のバスには乗車しないでください。
 注1) 盛岡駅から約2km 徒歩約30分です。
 注2) タクシー利用の場合 盛岡駅「タクシーのりば」から約10分です。
 注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。

盛岡駅東口バスのりば案内図



岩手大学への各種問い合わせについては下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日 8時30分から17時00分まで

※ただし、祝日、全学休業日(8/8～8/17, 12/28～1/3)
は除きます。

★入学試験に関すること

入学試験等に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課

☎ 019-621-6064

★奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6062

★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6506

☎ 019-621-6882

★学生寮に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6060

★入学料及び授業料納入に関すること

岩手大学法人運営部経理課

☎ 019-621-6031

岩手大学ウェブサイト

<https://www.iwate-u.ac.jp/>